

計画の評価について②

長野市健康増進計画・食育推進計画「ながの健やかプラン21」最終評価実施要領(案)

長野市保健所健康課

1 目的

「ながの健やかプラン21」の策定時に設定した成果目標及び取組指標について、昨今の健康づくり施策を取り巻く国、県の動向等¹⁾を踏まえつつ、その達成状況及び関連する取組状況の評価を行い、令和6年度以降の本市の新計画に反映させることを目的とする。

2 評価のための調査

市民アンケート及び健診データ等から「ながの健やかプラン21」の目標（成果目標・取組指標）の達成状況を把握し、課題の整理と今後の方向性を明らかにする。

(1) 健康づくりに関するアンケート

- ① 調査対象 市内在住の3歳から89歳までの市民約352,000人のうち、令和4年8月16日現在の住民基本台帳から地区別、生年月日順に並び替え、等間隔で市民5,000人を無作為抽出する。
- | | | |
|-----------|--------|-------------|
| ア 3歳から19歳 | 800人 | } 2区分に分けて抽出 |
| イ 20歳以上 | 4,200人 | |
- ② 調査期間 令和4年(2022年)9月1日から9月30日
- ③ 調査方法 アンケート調査用紙へ記入し、返信用封筒同封による郵送
(想定回収率 60%)
- ④ 調査項目 アンケート調査用紙 (案の1・案の2)
- ア 健康全般について
 - イ 栄養・食生活について
 - ウ 運動について
 - エ がん検診について
 - オ こころの健康について
 - カ アルコール・喫煙について
 - キ 歯と口の健康について
- * 3歳から19歳のアンケートは、イ・ウ・キの項目のみ

(2) 歩数調査

- ① 調査対象 市内在住の20歳から89歳までの市民約298,000人のうち、令和4年8月16日現在の住民基本台帳から、各年齢層の比率別の男性243人、女性257人を地区別、生年月日順に並び替え、等間隔で500人を抽出する。
(同時に抽出する「健康づくりアンケート」の対象者と重複しないこと。)
- ② 調査期間 令和4年(2022年)9月1日から9月30日

- ③ 調査方法 歩数計の郵送法による歩数調査（3日間）とアンケート用紙による調査
（案の3）
（想定回収率 60%）

(3) 塩分・野菜摂取量

国民健康・栄養調査、県民健康栄養調査の直近の結果で分析
減塩プロジェクトで行う尿中ナトリウム測定の結果も参考として
把握し分析する（詳細は検討中）

(4) 健診結果等のデータ収集

- ① 長野市国保特定健診等結果
（40歳から74歳受診結果約25,000人、75歳以上受診結果約28,000人）
② 市内の高校、短大・大学の身体計測結果 3,000人（調整中）
③ 市内企業等の健康診断結果 6,000人（調整中）

3 評価方法

各種アンケート調査等による目標の達成状況について、各目標毎に達成状況进行评估。
評価方法については、国の健康日本21（第二次）の最終評価報告書を参考に検討。

<達成段階の計算方法> *前計画最終評価の例

・策定時（H27・28年）の水準（ベースライン）と比較し、目標（値）に対してどの程度到達しているのかについて、「ほぼ達成A」・「改善傾向B」・「横ばいC」・「悪化傾向D」・「評価困難E」の5段階に分けて評価する。

目標値が数値で定められている場合には、下記の計算値から判定する。

$$\frac{(\text{最終評価時の値}) - (\text{ベースライン値})}{(\text{目標値}) - (\text{ベースライン値})} \times 100 (\%)$$

判定区分	判定基準
ほぼ達成(◎)	そうである、十分できている。数値で表すと75.0%以上の達成率。
改善傾向(○)	どちらかというところである、ほぼできている。目標値が「増加」の場合に増加したとき、あるいは目標値が「減少」の場合に減少したとき。数値で表すと1.1%以上75.0%未満の達成率。
横ばい(→)	最終評価時の値がベースラインと変化なし。または、増減が±1.0%以内のとき。
悪化傾向(△)	ベースラインに比べ悪化している。目標値が「増加」の場合に減少したとき、あるいは目標値が「減少」の時に増加した時。数値で表すと-1.1%以下の達成率。
評価困難(-)	数値の増減のみで評価することが不適當なもの。または、数値が算出できないもの。

*最終評価値は、最新値もしくは計画期間の平均値とする。